

ドッジボール

2018年1月に創設。ドッジボールの強豪がひしめく枚方市で地域大会をきっかけに結成された。枚方市立山田東小、山田小の体育館を拠点に火・水曜と週末に活動しています。現在の部員は46人。監督の西谷悟詞さん(36)が、「誰でも輝けるスポーツ。試合の5分間を必死で戦う子どもたちに感動します」と、熱心に指導しています。

学校でドッジボールを楽しむ時のように自由に動き回るのではなく、ポジションを決めて横一列に並び、ディフェンス練習に力を入れています。姿勢を低くしてボールを下からすくいあげるようにキャッチするのがコツ。うまくキャッチできた喜びがやる気につながり、「限界突破!!」をスローガンに、いままでの自分や結果をこえていこうと取り組んでいます。

昨年度の3期生は出場した10大会中九つで入賞を果たし、春の全国小学生ドッジボール選手権大阪府大会準優勝。4期生がことし7月の全日本ドッジボール選手権大阪府大会で代表切符を手に入れました。2セット連取しての勝利に、山田小5年の野崎蒼唯さん(11)は「最高の仲間と一緒に笑顔で大会を終えることができました。このチームにも負けないくらい気持ちが強くて、もりあがっています」。



おおさか子ども元気アップ新聞 令和3年12月 第30号

発行/毎日新聞社 協力/大阪府教育庁

編集・制作/毎日新聞大阪センター